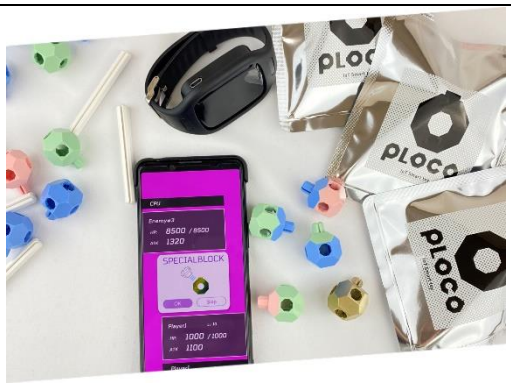
ものづくりイノベーション支援助成金 採択企業の活用事例

株式会社白紙とロック

住所	大阪府池田市綾羽二丁目３番13号	資本金	2,000万円
設立	平成30年6月18日	従業員数	3名
企業HP	https://www.8969.co.jp/		
代表者	渡部　一成　（TEL:）06-6467-8969		
事業内容	知財活用プラットフォームの運営及び知財関連メディアの運営。プロダクト開発、ソフトウェア開発。		
計画名	令和元年度ものづくりイノベーション支援プロジェクト IoT技術による理系脳を育む新しい知育玩具（スマートトイ）の開発		
計画概要	ブロック組立玩具に複数の数値指標を組み合わせることで、「空間認識能力」と「数的能力」を遊びながら鍛えることができ、通信機能で全世界とつながれる新しいIoT知育玩具「BLOCK BATTLER」「BLOCK HEROES」の開発。		



（1）助成金申請のきっかけは何ですか？
我々として、モノづくりは初めてのチャレンジとなりましたので、開発コストの負担軽減はもちろんですが、申請を通して多角的なアドバイスを頂けること、技術的な実現性を確認する目的で申請することになりました。

（2）研究開発する中での課題は何でしたか？
研究段階ではタグの読み込み精度とゲーム性のバランスや、ブロック自体の形状や勘合具合の調整など、物理的な距離や数ミリ単位の調整など様々な課題がありました。

（3）助成金を活用してどのような成果が得られましたか？
助成金を活用することで、研究段階から実際の製品化までスムーズに進めることができました。
製品化を実現するスピードが速くなったことで、キャッシュフロー的に整った状態でテストマーケティングに移行できました。

（4）今後の方向性について教えてください。
他社を巻き込んだ協業ベースでの取り組みなどで、商品の普及や新しい技術を取り入れた教育面での活用など展開していきたいと考えております。

以上